

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

笑顔あふれる暖かい家

グループの名称

ワイエス住環境研究会

直近採択グループ番号

06-0264-0038

(グループ代表者)

代表者名

吉田 誠夫

代表者印

代表者所属先

株式会社吉田産業

代表者所在地

青森県八戸市大字廿三日町2番地

代表者電話番号

0178-47-8111

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社吉田産業八戸支店

事務局担当者名

矢神 敦弘

印

事務局郵便番号

039-1121

事務局所在地

青森県八戸市卸センター二丁目3-30

事務局電話番号

0178-20-3111

事務局FAX

0178-20-1805

事務局担当者E-mail

a-yagami@yoshidasangyo.co.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		45	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	29	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	5	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		15	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	9	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		15	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	7	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		7	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		7	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		12	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		12	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸				
			上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	1	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸				
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		12	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸				
			上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		3	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸				
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	未経験工務店枠・経験工務店枠共に現場の状況を常に把握しながら、過不足が生じるケースには受注が確実な工務店を優先したり、1戸あたりの下限金額のルールの通り補助対象戸数の調整を行う。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	6	戸	交付申請戸数	6	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	6	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 笑顔あふれる暖かい家	(地域型住宅供給対象地域) 青森県、岩手県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) ワイエス住環境研究会	(結成年) 2016年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0264-0038	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	青森県、岩手県は、寒冷地の為、気密・断熱化住宅を現行基準に適合した地域型住宅を施工しBELS認証を推進する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	青森県産材認証制度、岩手県産材認証制度の地域材、もしくは合法木材を50%以上使用し、耐久性に考慮して住宅の気密・断熱化を重視した設計・施工を行う。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	内・外装材に地域材を積極的に取り入れて快適な住環境を確保し、地域に調和した家造りを目指す。	○
④①～③の背景	青森県、岩手県は、寒冷地の為、冬の寒さ対策・雪害対策が必要なので、断熱性能及び耐久性に優れた家造りが必要である。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	2020年省エネ基準適合住宅の義務化に向けて、断熱施工レベルを引き上げ、未経験施工事業者の支援を積極的に行う。	◎
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 住まい手に品質の安定した、ランニングコストの軽減が可能な商材を検討し実施する。	○
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 会合時に検討と実施を行う。	○
②-1 建材・資材調達の見直し	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 共同購入の仕組みを検討する。	○
②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 共同購入によりコストの削減を計る。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 合理化検討委員会を立ち上げる。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 合理化検討委員会の設置召集しコスト削減に繋がる提案を行う。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 第三者機関の基礎・躯体・防水の検査基準の通りの施工を行う。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: 地盤調査を実施し結果に応じた地盤補強を行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: 一般ユーザーに対して工種毎一式見積等せず、使用商品を明確にして分かり易い見積書を提出する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: ホームページ、DM等の広告媒体を利用して、一般ユーザーに情報を発信して行く。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	□ ない ■ ある → 内容: 各業者共、年間勤務日数を設定しローテーションを作成して実施する。	◎
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない ■ ある → 内容: 構成員毎、技能者や資格所有者に対し職責に応じた処遇の対応に取り組んでいる。	◎
③ 社会保険への加入	□ ない ■ ある → 内容: 構成員ほぼ加入済である。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない ■ ある → 内容: 構成員毎、災害防止衛生委員会を設置して定期的に開催中。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	2020年省エネ基準義務化に伴い、施工や技術に関するセミナーや講習会に積極的に参加する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 笑顔あふれる暖かい家	(地域型住宅供給対象地域) 青森県、岩手県		
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ワイエス住環境研究会	(結成年) 2016 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0264-0038			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 住宅履歴情報の蓄積			
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 物件毎の住宅履歴情報を第三者機関を活用する。	◎	
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 物件毎の住宅履歴情報を第三者機関を活用する。	◎	
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 物件毎の住宅履歴情報を第三者機関を活用する。	◎	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 合理化委員会を立ち上げて維持管理の為に計画書を作成して点検項目を共通化し定期的に点検する。	○
		②-2 補修の共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理の為に計画書を作成して点検項目を共通化し定期的に点検する。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 合理化委員会を立ち上げて外部講師により実施する。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工店のイベント、見学会で定期的に開催する。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工店のイベント、見学会で定期的に開催する。	○
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 合理化委員会を立ち上げて外部講師により実施する。	◎	
	⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 取り扱い説明時に実施する。	◎	
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局に相談窓口を設ける。	◎
		② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		完成保証制度について説明会を開催して推進する。	○
エ. グループの技術力の向上				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計・施工に関する勉強会を事務局主催で実施し、レベルアップを図る。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 合理化委員会を立ち上げて共有化出来る様、検討・推進する。	○	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ②-1で決定後、会合時に活用度合いを確認する。	○	
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 会合時に都度、受給の確認をする。	◎	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 登録業者の職人を住宅省エネルギー施工技術研修会に積極的に参加推進する。	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 会合時に各業者共、情報の共有化をする。	◎	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 81 今年度の参加目標人数 22	○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 5	○	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で省エネ技術講習会等の情報提供を行い、受講者を把握していきます。	◎	
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 他地域で活動しているグループと交流会を実施し技術力の向上を図る。	○	
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 笑顔あふれる暖かい家	(地域型住宅供給対象地域) 青森県、岩手県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ワイエス住環境研究会	(結成年) 2016年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0264-0038													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	地域材利用に関する													
①	共通 ルール(必須)	主要構造材の土台・柱・桁・梁の必要量は、青森県産材・岩手県産材・合法木材とする。												
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明	<p>株式会社吉田産業が施工業者 に対してプレカットを含め直接 販売し流通コストの削減に努め ている。</p>												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: プレカット業者と現場情報を共有出来る様、定期的に打ち合わせする。												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: プレカット業者と現場情報を共有出来る様、定期的に打ち合わせする。												
	② グループ全体における地 域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施工業者訪問時に必ず現場情報を確認する。												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施工店以外に畳屋の登録をしている。												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施工店以外に瓦屋の登録をしている。												
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
d	① 地域の伝統的なデザイン を継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 会合時に熟練した職方さんより伝統的な技術を学ぶ時間を設ける。												
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施工業者のホームページや現場構造・完成見学会で告知する。												
	③ 地域の街並み形成へ寄与 する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 建設地の周りの景観に配慮した家を施主と打ち合わせの上、検討する。												
	④ 和の住まいの要素を取入 れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施主と協議の上、畳・和瓦を使用部位を限定せずに提案する。												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。	内装材・外装材へも県産材を積極的に採用する。												
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
東日本大震災の復興に資する取組	地域材を積極的に採用し、復興に寄与する。	○												
平成28年熊本地震の復興に資する取組														

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 笑顔あふれる暖かい家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 青森県、岩手県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> ワイエス住環境研究会	<small>(結成年)</small> 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0264-0038	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<ul style="list-style-type: none"> ・事務局として国の施策のスケジュールに対応出来る様、各地域からの要望に柔軟に対応可能な各種申請書作成の手伝いや適合書発行手続きの代行、BELS制度発行手続きの代行、外皮性能計算・一次エネルギー消費計算の代行等、すべての必要業務のフォローが可能な状態です。 ・ゼロ・エネルギー住宅の更なる建築推進の為、各商品・設備について掛け増し費用として補助対象となる基準値の物を標準仕様とし、ランクアップ外皮性能の採用にも積極的に取り組んでいく予定です。 ・昨年度より継続して構成員に電気工事を登録しており、太陽光発電と蓄電池のセット採用の推進をはかり、更に効率良く一次エネルギーの削減が可能になる様にIOTにも十分対応出来る様にしております。 ・今年度より省エネルギーの対策のみならず、畳屋・瓦屋・板金屋も構成員に加えて従来の固定観念に囚われず、板金商品を壁に畳を廊下に瓦を一部外構にと提案が可能な体制が出来ております。 		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。